

第 60 回地区キャンポリー

実施計画書

目次

1. 実施概要	2
2. 全体タイムスケジュール	4
3. プログラム内容	5
3-1. 概要	5
3-2 事前課題	5
3-2-1. サイト図	5
3-2-2. 設営・撤営計画書	5
3-3. 当日プログラム	5
3-3-1. 設営	5
3-3-2. 点検評価	6
3-3-3. 撤営	8
4. セレモニー式次第	9
4-1. 開会式	9
4-2. 表彰式・閉会式	9
5. 予算案	10
6. 備品	10
7. 各団の備品搬入について	10
8. 安全対策計画	11
添付資料 ：各班への指示書	14

1. 実施概要

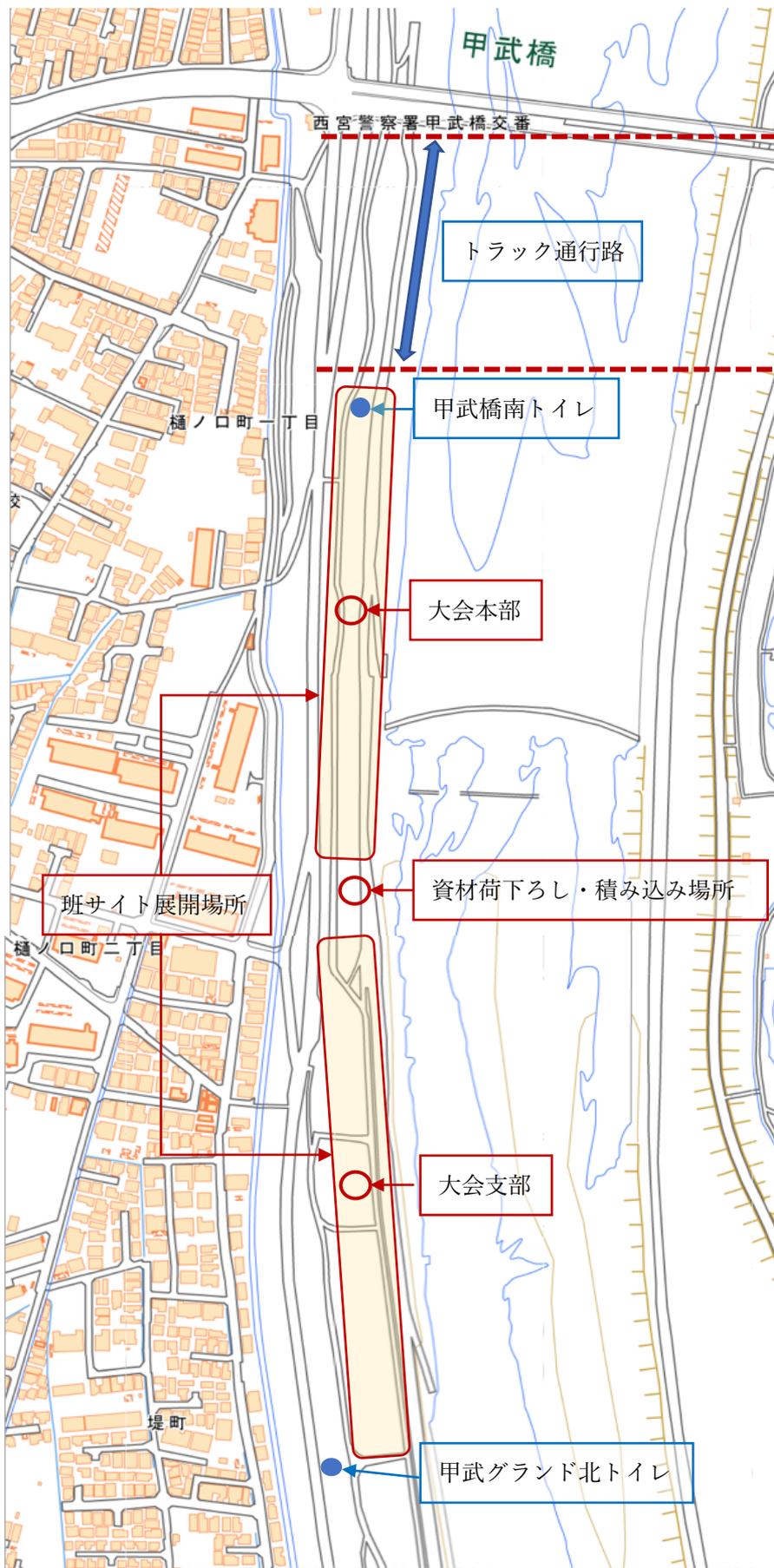
- 行事名：第 60 回 阪神さくら地区キャンポリー
- 実施日：令和 4 年 3 月 13 日（日）
- 時間：開会式 13 日 10:00（受付は 09:30 から） 閉会式 13 日 16:30
- 場所：武庫川河川敷
 - 北端：甲武橋南側 甲武橋南トイレ付近（34° 45'46.5"N 135° 22'20.3"E）
 - 南端：甲武グラウンド北トイレ付近（34° 45'24.6"N 135° 22'19.8"E）
- 参加者：阪神さくら地区加盟のボーイスカウト隊スカウト、及び指導者
- 目的：
 1. スカウト野営の基準維持や、地区内の全てのスカウト間の交流と班活動の活性化を図る。
 2. これから実施される春期野営、夏に実施される兵庫連盟合同野営大会や夏期野営に向けて準備と位置づけた野営を実施する。
- 目標：
 1. 各隊がこれから本格的に始まる隊野営の為の装備を確認できる。
 2. テント・フライの設営、野営工作、点検講評等の野営基準を確認する。
 3. 多くのスカウトが交流し仲間を増やす。
 4. スカウト技能の向上。
- 実施方法
 - 【野 営】
 - (1) 班毎の参加で、ジャンボリーサマー参加隊で準備を進める
 - (2) スカウトはテント、フライ、野営工作、班・個人装備の点検と準備
 - (3) 指導者はスカウト野営の基準をチェックする（点検、講評等）以上の事を現地に割り振られた野営場所で班毎に展開する。
 - 【プログラム】
 - (1) 班サイト設営&徹営：優秀班を決定し表彰する。
- 安全管理：

安全・健康管理は参加隊隊長の責任のもと行われる。救護所は地区が準備する。
- 実行委員会：

土地借用と管理、マーキー・掲揚柱・掲示板・その他指導者が利用する備品の準備と管理、全体プログラム展開の管理
- 参加費：無料
- 装備
 - 【班】野営に必要な備品、工作物の資材
 - 【個人】制服、訓練用具、昼食、作業服、防寒具、その他設営時に必要なもの
- 事前課題

設営・徹営手順計画書（時間割・役割分担）、工作物の設計図、班サイト設計書、備品一覧（今回持っていくものの一覧）

■ 会場配置図



公共工事のためのトラック高麗の可能性があるため、安全上の理由から、この区間の河川敷のスカウトの通行を禁止する
※入場の際は樋ノ口公園付近か報徳学園のグランドあたりから入場すること

2. 全体タイムスケジュール

実施内容		実行委員会	
		7:00	実行委員会集合 打ち合わせ
		7:10	班サイト地割り
		8:45	受付準備
		9:15	備品おろし
9:30	各団受付開始	9:30	受付 誘導 車両補助
10:00	開会式	10:00	式進行
10:20	プログラム開始 各団備品受け取り	10:20	見回り 安全 備品補助
10:30	設営開始		
14:30	設営終了、採点開始	14:30	採点、集計
15:00	採点終了 撤営開始 班ごとに点検→備品搬入	15:00	点検 備品搬入指示 閉会式準備
16:30	表彰式 閉会式	16:30	式進行 車両補助 表彰状
17:00	スカウト解散	17:00	解散誘導 車両補助 現状復帰 地区倉庫荷降ろし 備品受け渡し
		19:00	実行委員会解散

3. プログラム内容

3-1. 概要

- 事前課題としてサイト図と設営・撤営計画書を作成し、実行委員会へ提出する
- 事前課題に基づき班サイトの設営と撤営を実施する
- 共通の野営基準をもとに点検評価を受ける(指導者のためのスカウトキャンプを参考)
- 他団のサイトを見学し、野営スキルの知見を増やす

3-2 事前課題

3-2-1. サイト図

- 事前配信されるキャンポリー作業手順書を参考にサイト図を作成する(サイト図も所定書式を利用、地区 HP より配信予定)。
- サイト図には必ずテント(家形)、ドームテント、立ちかまど、食堂フライ、工作物 1 点(班のシンボルになるもの)、出入口は書くこと
- 風向き、地形、方角なども考慮して作成できるよう班長会議で指導をお願いいたします(サイト図の構成も評価対象になります)。
- 作業手順書の「サイト図作成」に沿ったサイト配置ができているか評価する。
- サイト図のコピーを当日の 13 時に実行委員会本部へ提出すること

3-2-2. 設営・撤営計画書

コロナ禍による設営撤営作業の経験不足を踏まえ、事前に計画しイメージさせる

- 事前配信されるキャンポリー作業手順書を参考に設営・撤営計画書をそれぞれ 1 枚(A4)ずつ作成すること(見本参照)
- 計画書には、設営(撤営)物、タイムスケジュール、担当をわかりやすく書くこと
- 当日はこの計画書をもとに作業を進めること。作業順は班に任せる(テントや立ちかまどの作成順は実行委員会から指定しない)。
- 計画書のコピーを当日の 13 時に実行委員会本部へ提出すること

3-3. 当日プログラム

3-3-1. 設営

- 時間：10:30 から 14:30 (4 時間)
設営終了時には号笛で終了合図を出します(長音 1 回)。
- 準備物
各班備品、サイト割表(受付で配布)
- 内容
 1. スカウトはサイト図と設営計画書に準じて設営作業を行う。
 2. テント(家形)、ドームテント、立ちかまど、食堂用フライ、工作物 1 点を時間内に作成し、点検に備えてサイトを整頓しておく。
 3. 隊指導者は自団サイト付近を巡回し、安全確認を行ってください。特に他の武庫川利用者との事故やトラブルにならないよう事前にスカウトへも使い方の声掛けをお願いします。

ボーイスカウト阪神さくら地区第 60 回地区キャンポリー

4. また 14:30 からの点検評価に同行してもらうため、14:00 に本部へ集合してください。
5. 実行委員会は本部と支部(南側)にわかれ、大会進行を行う。
6. 14:00 からは点検評価の説明とグループ分け確認(本部と支部集合)
7. 14:30 から 4 グループで点検評価(1 グループに実行委員 1 名)

■ その他

1. 昼食は適宜各班でアルコール消毒とコロナ対策のもと取ってください。
2. 何かトラブルなどあれば近くの実行委員まで連絡ください。支部の場合、本部と協議し対応します。

3-3-2. 点検評価

■ 時間：14:30 から 15:00 (30 分)

1. 各班点検時間は 5～10 分程度

■ 準備物

1. 点検表 x 4
2. 採点表 x 1
3. スケジュール表(受付で配布)
4. 投票用紙(受付で配布)、
5. 特別賞投票箱 x 2

■ 内容

1. 評価項目と点検表をもとに各班サイトの点検評価を行う(評価項目は指導者のためのスカウトキャンプを参考にした)。点検は実行委員より指定した時間に行う(スケジュール表を配布)。点検時にスカウトからもサイトの自班評価を聞く。点検以外の時間は他団サイトの見学を行い、特別賞の投票を行う。
2. スカウトは指定時間に自班サイトで点検を受ける状態で待機しておくこと(点検のためにサイトの整理整頓、制服で整列)。
3. 指定時間にスカウトがサイトに居ない場合は点検を実施せず、得点を無しとする。
4. 15:00 までに全班は本部または支部にある投票箱に特別賞の投票を行う。
5. 他団サイトへの見学の際、自班サイトが無人としないようにすること。
6. 隊指導者は 14:30 からの点検評価に参加する。グループ分けは参加申込後行う。
7. 実行委員会は、本部と支部(南側)から 4 グループに分かれ、班サイトの点検を行う(プログラム担当と他隊指導者)。
8. 全班の点検が終了したら、最終採点を本部で実施、特別賞の開票も同時に行う。
9. 本部ではトラブル対応のため実行委員数名が待機。

■ 評価項目

それぞれの工作物の採点については以下の項目を採点基準とします。

満点は 80 (105) 点

1. A 型テント+ドームテント：最大 15 点

- (1) (両方完成で 5 点) 完成しているか
- (2) (2 点) テントフライとテント本体が接着していないか

- (3) (2 点) 四隅の張りかた (対角線を意識していて、たわみがないか)
- (4) (2 点) ペグの打ち方 (角度・抜けがないか)
- (5) (2 点) メインロープの弛みがないか
- (6) (2 点) 乾燥作業ができているか
 - ✓ 入り口・出口がまとめられているか・テント内の裾の部分がまとめられているか・グラ
ンドシートの乾燥作業

2. 食堂用フライ：最大 20 点

- (1) (5 点) 完成しているか
- (2) (2 点) 高さは適切か (メインと四隅のバランスがとれているか)
 - ✓ 四隅の高さはその班で最も身長の高い者が屈まずに入れる程度
 - ✓ メインの高さは四隅のおよそ 1.2~1.5 倍
 - ✓ 四隅は適切だがメインが高すぎるとフライの範囲が狭まってしまう
 - ✓ どちらも高すぎると風の強い雨を防ぐことができない
- (3) (2 点) 支柱との結びの強度
- (4) (2 点) トートラインヒッチが正しくできているか
- (5) (2 点) フライに弛みはないか
- (6) (2 点) 支柱と結び目が離れていないか
- (7) (2 点) ペグの打ち方 (角度・抜けがないか)
- (8) (2 点) 末端処理
- (9) (1 点) 裏表が合っているか

※ポールを支柱に使用する班は点数が低くなる (難易度が低く、時間的に有利なため)

3. 立ちかまど：最大 20 (25) 点

- (1) (10 点) 完成しているか
- (2) (2 点) 強度
- (3) (2 点) 高さは適切か (使う人の身長に合わせているか)
- (4) (2 点) 結びは適切か
- (5) (2 点) 末端処理
- (6) (2 点) 風向きを意識しているか
- (7) (+5 点) その他工夫点

※既に資材等を切りそろえている班は点数が低くなる (難易度が低く、時間的に有利なため)

4. その他工作物 (1 つ)：最大 20 (40) 点

- (1) (10 点) 完成しているか
- (2) (2 点) 強度
- (3) (2 点) 高さは適切か
- (4) (2 点) 場所は適切か
- (5) (2 点) 結びは適切か
- (6) (2 点) 末端処理
- (7) (+5 点) その他工夫点 (独創性があれば加点)

(8) (+5 点) 見栄え (実用性だけでなく美しさも併せ持てば加点)

(9) (+最大 10 点) 難易度

✓ 資材の多さ、結びの多さ、結びの難易度等を考慮し加点

5. **サイト図**：最大 5 点

(1) (5 点) サイト図通りに作れているか

6. **その他減点項目**

(1) サイト内整理の不十分 (1 つにつき -1 点)

✓ 工具やごみ、私物の散乱がみられる場合

(2) 備品忘れ (1 つにつき -1 点)

(3) 迷惑行為 (1 つにつき -5 点)

✓ 一般人の通行の妨げになる行為等

■ 評価方法

1. 大会実行委員会指導者による評価

✓ ①~④の得点を総合し 1~3 位を決め、表彰する

✓ 評価を行う際にはスカウト自身が所属している班のサイトを審査員に説明する

✓ 採点項目は上記の通りである

✓ 加点方式で行い、⑥に該当する状態や行為が見受けられれば減点を行う

✓ 不可：0 点 可：1 点 良：2 点 の 3 つで採点を行う ※例外あり

✓ 難易度や工夫点などの加点は、審査員の裁量による

✓ なお、各班によって、構成人数が異なるため、優秀班を決定する際は人数も考慮する

➤ その班の合計得点を班の現在員で割り、一人当たりの得点で順位を決める

2. スカウトによる評価

✓ 審査員がサイトを評価している間にスカウトは別の班のサイトを見て回り、最も優れていると思った班の名前を選んだ理由とともに特別賞記入用紙に記入し、投票箱に投函する。

3-3-3. 撤営

■ 時間：15:00 から 16:00(1 時間)

1. 16:00 から 16:20 までに備品運搬

■ 準備物：本部用ゴミ袋

■ 内容：

1. 実行委員長の撤営宣言により撤営を開始する。

2. 16 時までに撤営を完了し、原隊指導者からサイトの点検を受ける。

3. 点検完了次第、本部の備品積み込みエリアまで各班は備品を運搬する。

4. スカウトは撤営計画書をもとに速やかに撤営作業を行い、原隊指導者の撤営点検を受ける。撤営完了後、備品運搬を行う。

5. 隊指導者は各班の撤営終了時にサイト点検を行い、備品整頓、サイト清掃・整頓ができているか確認する。撤営完了であれば備品を運搬するよう指示してください。

6. 実行委員会は採点集計を行い、表彰式の準備を行う。また各団の備品積み込みおよび運搬車の

通路確保などを指示する。

4. セレモニー式次第

4-1. 開会式

項目	担当	内容
集合	集散	団ごとに U 字で整列
開会宣言	司会	「ただいまより、第 60 回阪神さくら地区キャンポリー開会式を行う」
国旗掲揚	司会	「国旗儀礼」 「他のものは掲揚柱正対」 「敬礼」 「直れ、元の位置」
おきて唱和	司会	N3（耐寒訓練優秀班の団）
地区コミッショナー挨拶	地区コミッショナー	
閉会宣言	司会	「以上で、第 60 回阪神さくら地区キャンポリー開会式を終わる」
伝達事項・諸注意		

4-2. 表彰式・閉会式

項目	担当	内容
集合	集散	
表彰式開会宣言	司会	「ただいまより、第 60 回阪神さくら地区キャンポリー表彰式を行う」
講評	プログラム担当	
結果発表	実行委員長	
表彰	地区コミッショナー	
閉会式開会宣言	司会	「引き続き、第 60 回阪神さくら地区キャンポリー閉会式を行う」
地区委員長挨拶		
実行委員長挨拶		
国旗降納	?	
スカウトサイン	?	「私は良いスカウトになります」
閉会宣言	司会	「以上で、第 60 回阪神さくら地区キャンポリー表彰式を終わる」
解散	集散	「解散」

5. 予算案

支出		説明	金額
	レンタカー	2t 1台	15,000
	会議費	資料印刷費	2,000
	消耗品費	消毒用アルコール、キッチンペーパー、トイレ清掃用品、トイレ ットペーパー、マジック、ペン、画用紙、表彰状、PP ロープ、 養生テープ、表彰状	3,000
	合計		20,000

収入	地区行事費		20,000
	合計		20,000

6. 備品

品目	数量	備考
テント一式		
長机		
パイプ椅子		
国旗セット	1	国旗 掲揚柱
ハンドマイク		
表彰状	4	(1位～3位、特別賞)
画用紙		
採点用紙		
講評用紙		
筆記用具		ペン、マジック等
衛生用品		消毒用アルコール、キッチンペーパー、トイレ清 掃用品、トイレトペーパー

7. 各団の備品搬入について

備品の搬入搬出は、各団で各班備品を事前に地区倉庫搬入し、当日朝、行事委員会に会場に搬入してもら
う。

各団の備品搬入日時は後日連絡する。

各団の備品は班名がわかるようタグづけし、必要最低限のものとなるよう梱包すること。

8. 安全対策計画

救急医院の確認は?	<u>した</u> ・していない・誰が何時するか	医院名	西宮応急診療所
		TEL	0798-32-0021
実地調査はしたか?	<u>した</u> ・していない・誰が何時するか	結果は	良好
参加者の健康チェックはしたか	<u>した</u> ・ <u>していない</u> →誰が何時するか：当日受付時に健康調査書を回収	結果は	

活動について（具体的に）		予想される危険 潜んでいる内容	危険を排除するため に立てた対策は何か。	どのように実行するか (5W1H)		
時 間	プログラムの内容			When	How	
当日	実施判断	荒天・雨天	中止	When	「時間」に記載	
				Where	気象庁 HP で	
				Who	実行委員長が	
				What	警報または土砂災害情報を確認し	
				How	実施の可否を判断する	
		疲労、体調不良	スカウトの健康状態の把握	When	活動前に	
				Where	集合時に	
				Who	指導者が	
				What	スカウトの健康状況を観察し	
				How	適切に指示する	
				活動を中断する	When	行動が継続できないと判断した際は
					Where	その場で
					Who	引率リーダーが
					What	状況を確認しその後の行動を判断し
					How	スカウトに指示する
			転倒	むやみに走らない 何かをしながら歩かない 前を見て道の状態を確認しながら適切な歩行をする	When	活動前に
Where	諸注意にて					
Who	安全対策リーダーが					
What	歩行技能について					
			How	班長に指示する		
	はぐれ（迷子）	トイレなど勝手に行	When	活動前に		

ボーイスカウト阪神さくら地区第 60 回地区キャンポリー

活動について (具体的に)		予想される危険	危険を排除するため	どのように実行するか	
時 間	プログラムの内容	潜んでいる内容	に立てた対策は何か。	(5W1H)	
			動しないよう指示	Where	諸注意にて
				Who	安全対策リーダーが
				What	班ごとに行動するように
				How	班長に指示する
		通行者とのトラブル	ふざけてない道の途中で止まったり、広がって歩いたりしない	When	活動前に
				Where	諸注意にて
				Who	安全対策リーダーが
				How	班長に指示する
		悪天候	安全を確保する実施継続困難と判断した場合引き返す	When	活動中
				Where	どこでも
				Who	実行委員長が
				How	安全確認を行い隊長に連絡し、実施継続の可否を判断し指示をする
		寒さ対策	防寒着の着脱	When	活動前に
				Where	諸注意にて
				Who	安全対策リーダーが
				How	休憩中に声掛け
		交通事故		When	活動前に
				Where	諸注意にて
				Who	安全対策リーダーが
				How	危険箇所を示し路肩を一列で歩くよう班長に指示する
活動全体	コロナ感染リスク	マスクの着用	When	活動前に	
			Where	諸注意にて	
			Who	安全対策リーダーが	
			How	集合時や飲食をするときにはマスクを着用するよう	
				How	参加者全員に注意する

ボーイスカウト阪神さくら地区第 60 回地区キャンポリー

活動について（具体的に）		予想される危険 潜んでいる内容	危険を排除するため に立てた対策は何か。	どのように実行するか	
時 間	プログラムの内容			（5 W 1 H）	
			適度な距離を確保する	When	活動前に
				Where	諸注意にて
				Who	安全対策リーダーが
				What	会話や飲食をするときには人との間隔を 2 m 以上あけるよう
				How	参加者全員に注意する
			大声を発しない	When	活動前に
				Where	諸注意にて
				Who	安全対策リーダーが
				What	祝声の際大声を出さないように
				How	参加者全員に注意する

